

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	食品産業界において海外展開を担うことの出来るグローバル人材の育成	
学部・研究科名	農学部	
実施期間	2015年8月23日～9月12日	
研修先(国・都市・施設名)	タイ国・チェンライ・メイファールン大学	
参加学生数 ： 7名		知の森基金からの支援者 ： 7名
プログラム概要	本プログラムは、農学部の学部間交流協定校であるタイ国メイファールン大学農産業学部を拠点に実施するものであり、3週間の海外研修とその事前学習を通じて、将来、食品関連企業の中核でグローバル戦略や海外展開を担うことが出来る人材を育成することを目的とする。メイファールン大学での英語による講義・実習に参加するとともに、日本での企業訪問、およびタイ国での食品製造工場の視察研修を実施する。以上より、学生の語学力向上やグローバル意識の醸成のみならず、日本の食品企業が海外展開するうえで必要となる専門知識や資質、さらには克服すべき課題を自ら考え、行動する力を養わせる。	

実施状況・成果

【実施状況】

出発前の事前ガイダンスでは、食品産業界におけるタイ国の重要性を学ぶとともに、県内企業の伊那食品工業株式会社を訪問し、企業理念および工場の安全衛生管理について学習した。

タイ国メイファールン大学では、3週間の滞在のうち、毎週、東南アジアの伝統的食文化に関する講義(ASEAN Foods, Thai Traditional Food Recipes, Principles of Crop products)を受講し、実験実習(Bakery Technology)に参加した。また、引率者である片山が担当した日本食の健康機能に関する講義にも出席し、現地学生とグループ学習を行った。学外実習としては、コーヒー農園・加工工場の視察研修やボックスキン(豚皮揚げ)の加工実習に参加するほか、二泊三日で隣接県のチェンマイを訪問した。チェンマイでは、アンカーン王室農園ステーションに滞在し、ツアーガイドの説明のもと、水耕菜園、果物農園、ハーブティー農園、茶葉加工工場を見学した。最終日前日にはメイファールン大学の教員スタッフ参加のもと成果報告会に参加した。本プログラム参加者7名のうち、5名が初めての海外旅行というメンバーであったが、全員体調を崩すことなく、無事プログラムを終えることができた。

【成果】

成果報告会では、参加学生全員が英語でのプレゼンテーションを実施したが、質疑応答含めて堂々と行うことができた。今回訪問したタイ北部では、かつてアヘン農園としてケン(麻薬の原料)が貧しい山岳民族によって栽培されていた。約30年前に始まった王室プロジェクトによって、果物や野菜、コーヒーなどの転換栽培の奨励が行われた結果、現在では一大産業となり、他国へ技術提供がなされるまで成長した。今回のプログラムでは、こうしたタイ国の食品産業が発展した歴史的背景を学ぶことができた。日本の食品企業と比べると、衛生面や労働環境など、いまなお大きな隔たりはあるが、両国が共存共栄的な発展を目指すには、現地での交流を通じて相手国の現状を知ることが必要不可欠である。また、英語でのコミュニケーションは相手と意思疎通を図りたいと思う気持ちが重要であり、一歩踏み出す度胸が欠かれないことを身をもって学ぶことができた。帰国後、参加した多くの学生が留学生支援アルバイトの参加や具体的な留学計画など、次のステップに向けて既に行動を起こしていると聞いた。今後の彼らの活躍に期待したい。

学生の声①ー農学部 学生

今回、このプログラムを通して、本当に多くのことを学ぶことができました。私は参加前の海外経験がほとんどなく、不安でした。大学の講義ではグループワークが多かったため、現地学生と話す機会も多く、海外の人と話すことへの不安はすぐに消え、彼らと会話することの楽しさを学びました。また、多くのアクティビティでは製品の生産過程、その土地の歴史や文化を学びました。このアクティビティは私に将来海外で研究あるいは仕事をする勇気を与えてくれました。今回このプログラムに参加できたことをとても感謝しています。本当にありがとうございました。

学生の声②ー農学部 学生

自分は唯一の食料生産科学科からの参加であり、海外経験もなかったので当初は不安もあった。しかし、食品製造工場や農場の視察では、信州大学で学んだ知識や実践経験を生かし、食料生産の視点から課題等を見つけることができた。英語での講義、タイの学生の語学力にはとても刺激を受け、コミュニケーションの手段として英語の重要性を認識し、自分から積極的に英語で話すことが出来た。短い研修期間であったが、とても有意義な時間であり、たくさんの経験の中で今後自分が目指す方向性を見出すことができたと思う。

アンカーン王室農園ステーションでの記念撮影



ベーカリーテクノロジー実験実習の風景

